

スパイクブロック

アンカー式護岸ブロック

スパイクブロック



スパイクブロックの特長

対応流速が高い

- ・アンカーピンを打込ことで、1割5分以上の法勾配で流速約8mまで対応可能です
- ・ブロックマットと比較しブロック重量が大きいため、流水力に対して安定となります

施工性

- ・基礎コンクリートが必要なく施工日数を短縮できます
- ・天端ブロックからの施工が可能です

構造

- ・目地モルタルを施工することで水密性の護岸を構築できます
- ・ポーラスコンクリートとすることで透水性護岸を構築できます

景観

- ・上記構造を選択することで、植生護岸および防草景観護岸を選択できます
- ・明度、テクスチャーとも満足しています

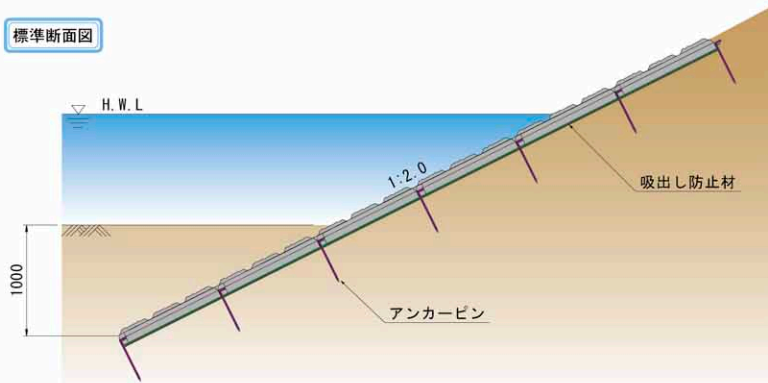
護岸ブロック緩勾配規格選定一覧表

スパイクブロック

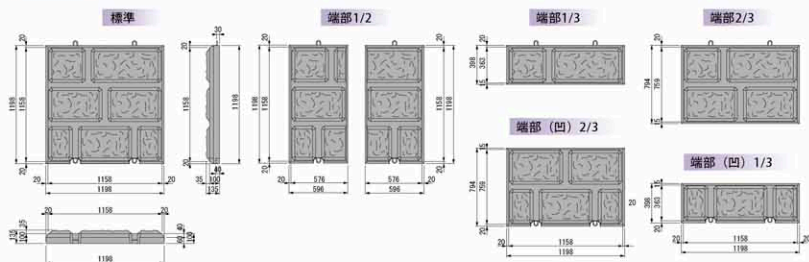
規格	コンクリート種類	ブロック質量(kg)	対応流速(m/s)	明度低減	法面の植生	水際の植生	背後地透水性
普通コン	粗面コンクリート	371	8.533	○	×	×	×
ポーラス	7号ポーラス	338	8.178	○	○	○	○

×:期待できない △:ある程度期待できる ○:期待できる
設計対応流速は護岸勾配1:2.0・設計水深5.0mでの計算値です。

標準断面図



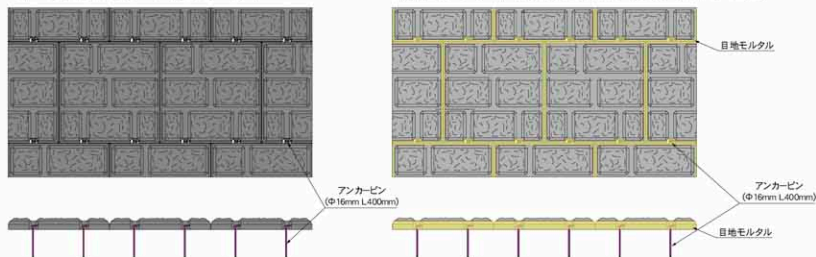
単体図



施工参考図

ポーラスコンクリート(植生タイプ)

粗面コンクリート+目地モルタル(止水・防草タイプ)



呼び名		参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)	備考
標準	粗面コンクリート	371		1198×1198×135	
	7号ポーラス	338			
端部1/2	粗面コンクリート	185		1198×596×135	
	7号ポーラス	168			
端部1/3	粗面コンクリート	123		398×1198×135	
	7号ポーラス	112			
端部2/3	粗面コンクリート	248		794×1198×135	
	7号ポーラス	226			
端部(凹) 1/3	粗面コンクリート	118		398×1198×135	
	7号ポーラス	108			
端部(凹) 2/3	粗面コンクリート	244		794×1198×135	
	7号ポーラス	222			

間詰モルタル量：0.230m³/100m²